

学校運営協議会 議事録

校名	府立たまがわ高等支援学校
(准)校長名	東野 裕治

開催日時	令和4年11月29日(火) 14:00 ~ 15:15
開催場所	たまがわ高等支援学校 会議室
出席者(委員)	協議会委員6名
出席者(学校)	事務局員8名
傍聴者	なし
協議資料	<資料1>令和4年度学校経営計画及び学校評価 <資料2>学校教育自己診断アンケート用紙 <資料3>授業アンケート <資料4>令和4年度 15期生 進路状況
備考	

議題等(次第順)

- (1)「学校経営計画」進捗状況について
- (2)「学校教育自己診断」について
- (3)「授業アンケート」について
- (4)報告事項 進路状況について、学校生活について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

(1)「学校経営計画」進捗状況について (承認6名)
 共生推進教室では2つの学校の相互訪問による交流を実施。教務研では12月1日に全体会を実施し、講演もある。河内警察との交流で、たまがわランドの相談を進めている。オープンスクールでは参加定員を超えたため、オンラインでの実施もあった。今年3月卒業生のうち、離職者は今のところ1名。1人1台端末は5割以上の授業で活用が進んでいる。また、普通教室16室に、プロジェクター対応のためマグネットスクリーンを購入した。コグトレは17期生から端末を使っての個別プログラムへ移行している。遅刻指導では、学年の教員に加えて生活指導、進路指導の教員からも指導を行い、遅刻者が減少している。教員の研修は25回を予定。外部講師による悉皆の人権研修も実施した。一斉退庁日を毎週水曜日と給料日に増やしているが、部活動での大会が開催されるようになってきているので時間外勤務の時間は増えているかもしれない。

(2)「学校教育自己診断」について (承認6名)
 アンケート内容は例年とほぼ変わらない。1人1台端末(i Pad)の活用についての質問を変更・追加した。12月に実施予定。

(3)「授業アンケート」について (承認6名)
 今年度からi Padを使って実施する。12月に実施予定。

(4)報告事項 (承認6名)

①進路状況について

現在就労は7割程度決まっている。未定の生徒も新規実習を予定している。進路先が福祉事業所の生徒も数名いる。1・2年生の体験実習の受け入れは、コロナの影響で厳しかった。3年生もハローワークの障がい者求人ほぼないため、一般の求人から探して実習を行っている。

②学校生活について

学校での生活態度不良など、指導の件数は減っているが、案件によっては警察との連携も進めている。いじめ対応では、いやがらせ事象の聞き取り、学校内での共有があったが、いじめとして認定しているものはない。遅刻指導では後期から指導体制を大きく変更し、複数の教員から指導するようにしている。生徒会では通学路の清掃活動を実施した。学校近隣の施設での活動も検討中。SSWの活用は4年目になり、学校と地域をつなぐ第三者機関として多方面で活躍していただいている。

意見

- ・ICT化が進んでいる。就労にどのように結びつけるのが今後の課題。
- ・遅刻指導では家庭との連携も進めてほしい。
- ・学校教育自己診断や授業アンケートなどでは結果のフィードバックが大切。
- ・いじめ問題では周りの大人が判断するのではなく、生徒の気持ちを一番大切にほしい。
- ・3年生の段階でどれくらい働く意欲が育っているかで、全然違ってくる。そのためにも1・2年生での職場実習は生徒の成長に不可欠。
- ・アンケートは、子どもによっては内容を理解するのがとても難しい。評価の分け方もわかりにくい。ICT化でも、わからない生徒もたくさんいることを知っておいてほしい。
- ・コロナ禍で会社とのマッチングが難しくなっている。また、一般就労へ本人の気持ちが向かないケースもあるが、少しずつでも成長して将来働きたいと思えるようになってほしい。

次回の会議日程

日時	令和5年3月
会場	たまがわ高等支援学校